

News Letter

2022



川の防災学習会 in 北見市立中央小学校

「川の防災学習」実施レポート

◆開催概要◆

令和5年2月2日(木)、北見市立中央小学校において、今年度初めて4年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

中央小学校では、4学年総合的な学習の時間において「ぼくらの街を守り隊」として防災・減災に関して学びを深めており、その中で「河川災害・防災」に関する出前授業を実施しました。

◆実施内容◆

はじめに、令和3年8月豪雨で被災した佐賀県六角川と令和4年8月の大雨で被害を受けた本州各地の写真から、水害が毎年のように起こっていること認識してもらいました。



毎年のように繰り返す豪雨災害の様子を確認

次に、常呂川のすがたや流域についての学習後、コップとボールを使ったゲームをし、川が周囲の支川から水を集めて海まで流れていくこと、流域内で大雨が降るとコップからボールがあふれるように堤防から水があふれる「越水^{こぼす}」が起こりうること、ダムが下流に流す水の量を調節していることを学習してもらいました。

また、平成28年8月に北見市日吉地区で越水した様子や、音更川で堤防が削られる様子から、堤防でも防ぎきれない水害があることを示した後、流水実験装置を用いて川岸が削れる様子などをみんなで観察しました。



コップを川に、ボールを水に見立てて下流へ渡します



川のカーブの外側と内側どちらが削れるかな？

後半は、水害時の避難について学習。ハザードマップの色分けによる浸水深の違いをスケールで示すと、あまりの深さに児童たちから驚きの声が上がりました。また、【北見市防災いつでもノート(2015年北見市)】に書かれている標準的な準備品の中から、水害時の避難で何が必要なのか考え、どれぐらいの荷物になるか体感してもらいました。

最後に、素足や長靴で避難しないことや、濁って見えない足元の安全を確認するために棒をもって歩くことなど、避難時の注意点を確認してもらいました。



「3mってどのくらい？」
ちょうど教室の天井の高さ!



自分の家は大丈夫かな？
ハザードマップで確認



「これは何に使うの？」
様々な避難グッズに興味津々



一人分の非常持出品の
多さと重さを体感しました

～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、昨年も、東北や北陸などで被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位や気象など避難につなげる情報は、インターネット(国交省「川の防災情報」・気象庁「キキクル」など)のほかテレビのデータ放送でも確認できます。

避難行動の際には是非ご活用ください。



情報はテレビのデータ放送から
確認・収集!

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

News Letter



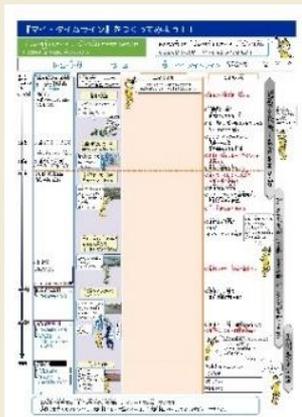
川の防災学習会 in 北見市立小泉小学校

「マイタイムライン」実施レポート

◆開催概要◆

令和4年12月13日(火)、北見市立小泉小学校において、6年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成20年から4～6学年を対象として「川の環境・防災学習会」を総合的な学習の時間において実施しています。昨年度から、^{りゅういきすい}流域治水の取組として、「いつ」「何をするか」を整理した『マイタイムライン』を作成しています。



行動を『見える化』した「マイタイムライン」

◆実施内容◆

はじめに、昨年度の学習内容の振り返りとして、毎年日本のどこかで自然災害が起こっていることや、小泉小学校の周りは水害の危険性があることを、児童たちに再確認してもらいました。



「流域とは?」コップの水で流域について学習しました

次に、流域に関わるみんなで水災害を考え対策する「流域治水」の話題をした後、マイタイムライン作成ツール『逃げキッド』を使い、災害が起きそうなき私達はどんな備えをするとよいか各班で考え、発表し合ってもらいました。



水害にはどんな備えが必要か、どんな順番で準備するとよいか班ごとに意見交換しながら考えました



後半では、「非常持出品」の準備に挑戦。ハザードマップ【北見市防災いつでもノート(2015年北見市)】に書かれている標準的な準備品の中から、水害時の避難で何が必要なのか考え、どれぐらいの荷物になるか体感しました。児童からは「水だけでバックがいっぱい」「携帯トイレはどうやって使うの?」などの声が上がっていました。

最後は、3年間の川の学習を振り返り、「水害から身を守るために、普段からどんなことを心掛けて生活すると良いか」をまとめ、水害に対する備え方を数人から発表してもらい、これまでの学習成果を確認することができました。



非常持出品リストをチェック



これで一人分の非常持出品



バッグに詰めていきます



「重くて一人で背負えない…」



水害への備えをまとめました



適切に避難し自分の命を守ろう

～知って得する「流域治水」～

「流域治水」は①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす、②被害対象を減少させる、③被害の軽減・早期復旧・復興の3つのポイントで『みんなで水災害に備える』ことを意味しています。この機会にご家族みんなで防災について今一度考えてみてはいかがでしょうか。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

News Letter

2022



川の防災学習会 in 北見市立小泉小学校

「マイハザードマップ」実施レポート

◆開催概要◆

令和4年11月18日(金)、北見市立小泉小学校において、5年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成20年から4～6学年を対象として「川の環境・防災学習会」を総合的な学習の時間において実施しています。

◆実施内容◆

はじめに、令和3年8月豪雨で被災した佐賀県六角川と平成28年8月に台風の影響を受けた常呂川の映像から、水害が身近にも起こりうることを認識してもらいました。また、常呂川の洪水前後の写真や動画を見比べながら、増水した川では何が起きているのかを児童皆で考えてもらいました。



毎年のように繰り返す豪雨災害の様子を確認

次に、児童たちに4つの模型実験を見てもらいました。川から水があふれ出ていないのに街が浸水する「^{ないすいはんらん}内水氾濫」、水圧でドアが開かなくなる「地下浸水」、強い上昇気流により起こる「竜巻」、流れる水の動きである「侵食・運搬・堆積」の実験を通し、大雨や風により起こりうる災害を学んでもらいました。



「モクモクした雲の下は…」「川のカーブでの流れの速さは…」
いろいろな模型実験で現象を確認しました

後半では、各班に用意した大きな地図に、通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思ふ場所などを記入し「マイハザードマップ」を作成。児童たちは、小学校周辺の地形の特徴や避難場所、堤防の役割などをクイズ形式で学びました。

最後に、インターネットの「川の防災情報」を例に、災害・防災情報の入手方法を確認してもらいました。



「ここは川が急に曲がっていて…」「大きな水たまりがあるよ」
など、みんなで話し合いながらハザードマップを作りました



「高い所にある建物はどれ？」
避難場所をクイズで学習

救命胴衣が必要になる前に
川の水位を確認して避難を

～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、今年も、7月14日から大雨により東北地方などで、8月3日から大雨により東北・北陸地方などで、9月18日に上陸した台風14号により九州・中国地方などで被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位や気象など避難につなげる情報は、インターネット(国交省「川の防災情報」・気象庁「キキクル」など)のほかテレビのデータ放送でも確認できます。

避難行動の際には是非ご活用ください。



情報はテレビのデータ放送から
確認・収集!

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

News Letter



川の防災学習会 in 北見市立端野小&端野中学校

「1日防災学校」実施レポート

◆開催概要◆

令和4年9月15日(木)、北見市立端野中学校を会場に実施された1日防災学校において、端野小学校6年生及び端野中学校2年生・3年生を対象に「マイ・タイムライン」を作成しました。

1日防災学校は北海道教育委員会主催の防災に関する取り組みの一つであり、河川防災に関する学習会は今年度初開催となります。



災害にはどんな種類が？

◆実施内容◆

『災害』の種類にはどのようなものがあるのかを確認したほか、令和4年8月3日からの大雨により被災した青森や福井・石川の様子や、平成28年8月の大雨により発生した北見市日吉地区の越水(堤防から水があふれる)被害影響を題材に、これまでに発生した水害に関して、動画や写真などを例示し災害の様子を確認しました。



その後、常呂川のすがた(延長・流域市町村)や、常呂川流域の中に降った水はすべて常呂川に集まることを確認しました。

災害のうち「水害」は気象情報やハザードマップ等の情報を組合せることにより、いつ発生するか「予測」することができます。これを踏まえ、学習の後半では、事前防災として『マイ・タイムライン』を作成しました。避難が完了し河川氾濫が発生する時を0時間として、台風が発生した3日前から何を準備し行動すべきかグループで考えました。また、自分はどんな準備や行動(そなえ)をするとういよか考えました。

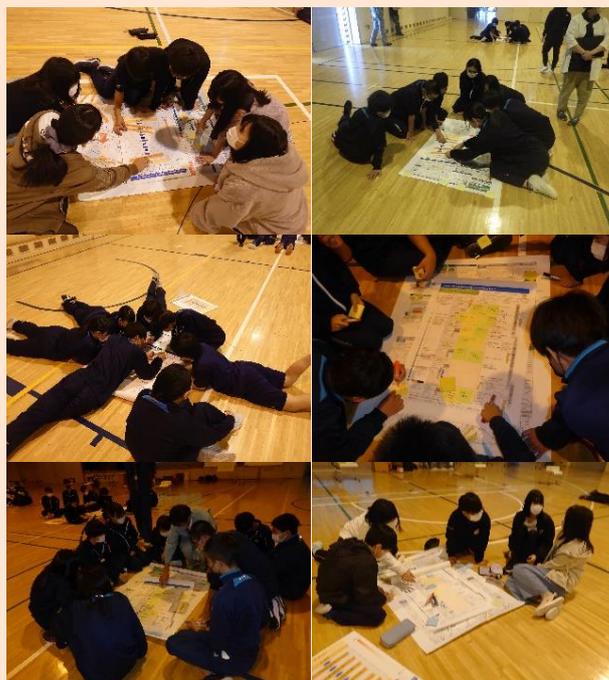


それぞれが考え助け合う『流域治水』という考え



「非常持出品」の一人分の重さを体感しました！！

最後に、避難情報が出たときには命を守る行動(避難所への避難を基本)をとること、早め早めの準備が必要なことを確認しまとめました。



「ここでペットの準備をして」「安否確認はいつする」・・・みんなで話し合いながらマイ・タイムラインを作り上げました

～知って得する 避難に関する情報～

令和3年5月20日より、避難情報が変更になったことをご存じでしょうか。変更された内容は、これまで使われてきた「避難勧告」が廃止されたほか、警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」は「**高齢者等避難**」へ、警戒レベル4「避難勧告・避難指示(緊急)」は「**避難指示**」へ、警戒レベル5「災害発生情報」は「**緊急安全確保**」へ名称が変わっています。

警戒レベル5では、安全な避難はできず、命の危険がある状況とされています。**警戒レベル4が発令されるまでに速やかに避難**をし、ミズから(自ら・水から)命を守る行動をとるように心掛けましょう。



出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

News Letter

2022



川の防災学習会 in 北見市立北光小学校

「マイハザードマップ」実施レポート

◆開催概要◆

令和4年9月13日（火）、北見市立北光小学校において、5年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

北光小学校では、平成18年から4年生を対象に「川の環境学習会」を実施しているほか、平成26年から5年生を対象に「川の防災学習会」を実施しています。



水災害が身近で起こったら…?

◆実施内容◆

はじめに、令和3年8月豪雨により被災した佐賀県六角川の動画と平成28年8月に北海道を襲った台風の影響を題材に、児童の皆さんと当時の状況などを共有しました。また、身近にある無加川の洪水前後の写真や動画を見比べながら、増水した川では何が起きているのかを皆で考えました。



毎年のように繰り返す豪雨災害の様子を確認

その後、内水氾濫（川から水があふれ出ていないのに街が浸水）・地下浸水（水圧でドアが開かない）・竜巻（強い上昇気流による激しい突風）・流れる水の動きと土地の変化（大雨による土砂の侵食・運搬・堆積の流れ）の模型実験を見学してもらい、積乱雲などの下で見られる大雨や風の災害を確認しました。



「川の外側がけずれてその砂は…」 「モクモクした雲の下は…」
いろいろな模型実験で現象を確認しました

後半では、各班に用意した大きな地図へ通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思ふ場所などを記入し「マイハザードマップ」を作成。小学校周辺の地形の特徴や避難場所、堤防の役割などをクイズ形式で学びました。最後に、災害・防災情報の入手方法としてテレビのデータ放送を実際に使い確認しました。



「ここは川が急に曲がっていて…」 「大きな水たまりがあるよ…」
など、みんなで話し合いながらハザードマップを作りました

～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、今年も、7月14日からの大雨により岩手県や宮城県などで被害があったほか、8月3日からの大雨では山形県、新潟県、福井県、石川県、青森県などに被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位や気象など避難につなげる情報は、インターネット（国交省「川の防災情報」・気象庁「キキクル」など）のほかテレビのデータ放送でも確認できます。

避難行動の際には是非ご活用ください。

データ放送の画面

国交省「川の防災情報」・気象庁「キキクル」などのほか、テレビのデータ放送でも確認できます。

情報はテレビのデータ放送から確認・収集を！

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126

News Letter



川の防災学習会 in 北見市立三輪小学校

「マイ・ハザードマップ」 & 「マイ・タイムライン」 実施レポート

◆開催概要◆

令和4年9月8日（木）、北見市立三輪小学校において、5年生3クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

三輪小学校では5年生を対象に、令和2年から「川の環境学習会」を実施しており、今年度初めて「川の防災学習会」を行いました。



私たちの身の周りには
どんな危険がある？

◆実施内容◆

はじめに、身近にある無加川の洪水前後の写真を比べながら、洪水時の川では何が起きているのかを皆で考えました。水は高いところから低いところへ流れ集まることを確認し、常呂川流域の中に降った水はすべて常呂川に集まることを確認しました。



流域内の水が集まることを
コップの水で表現しました

その後、増水した川で起こる災害を例示し、守り切れない水害も発生することや、災害のなかでも「水害」は気象情報やハザードマップ等の情報を組み合わせることにより、いつ発生するか「予測」できることを説明し、事前防災として『マイ・タイムライン』『マイ・ハザードマップ』の2つを作成しました。『マイ・タイムライン』作成では、避難が完了し、河川氾濫が発生する時を0時とし、台風が発生した3日前から何を準備し行動すべきかグループで考えました。



いつ、どんな準備をすると良いのかな？自分たちが住んでいる所は水害が起るとどうなってしまうのかな？

『マイ・ハザードマップ』作成では、自宅から学校までの通学路上に危険な場所はないか、水が集まりそうな場所はないか等を地図上に記入し、北見市発行のハザードマップ（想定最大規模の浸水）を示すほか、どのように浸水するのか時間経過も例示しました。



「ここは川がけずれそう」「大きな水たまりがあるよね」・・・
みんなで話し合いながらハザードマップを作り上げました

おわりに、避難情報が出たときには命を守る行動（避難所への避難を基本）をとること、早め早めの準備が必要なことを確認し、まとめしました。

～知って得する 避難に関する情報～

令和3年5月20日より、避難情報が変更になったことをご存じでしょうか。これまで使われてきた「**避難勧告**」が廃止されたほか、警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」は「**高齢者等避難**」へ、警戒レベル4「避難勧告・避難指示（緊急）」は「**避難指示**」へ、警戒レベル5「災害発生情報」は「**緊急安全確保**」へ名称が変わっています。

警戒レベル4が発令されるまでに速やかに避難をし、ミズから（自ら・水から）命を守る行動をとるように心掛けましょう。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126